

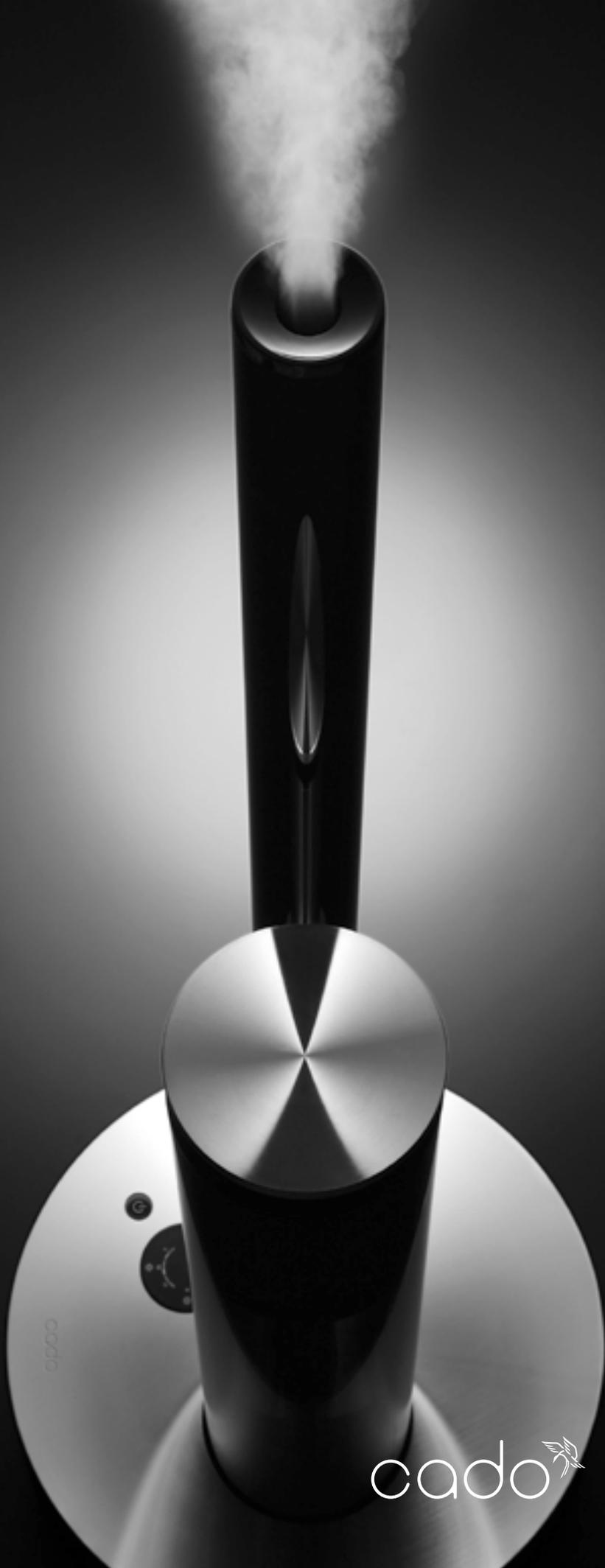
加湿器  
HM - C400

# 取扱説明書

日本国内専用 (Use only in Japan)

## 目次

- 1 安全上のご注意
- 3 設置について
- 4 各部のなまえとはたらき
- 5 本体の組み立て
- 7 タンクに水を補給する
- 8 使いかた
- 9 お手入れのしかた
- 11 故障かな?と思ったときは
- 12 仕様
- 13 加湿器保証書



cado 



# 安全上のご注意 必ずお守り下さい

商品および取扱説明書には、お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を防止するために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読み下さい。  
内容を無視して、誤った取り扱いをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守り下さい。

## 表示の説明



### 警告

「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



### 注意

「軽傷を負う、または家財に損害を与えるおそれがあること」を示します。

## 図記号の説明



### 禁止

「してはいけない禁止事項」を示します。



### 指示

「必ずしなければならない強制事項」を示します。



## 警告



### 禁止

- ◆ めれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因になります。
- ◆ 電源コードを傷つけない。  
電源コードを傷つけると、ショートや断線して感電や火災の原因になります。  
電源コードについて、下記のことを守って下さい。
  - 加工したり、傷つけたりしない。
  - 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。
  - 熱器具に近づけない。
  - 加熱しない。
  - 電源プラグを持たずに引き抜かない。
  - 持ち運び時に電源コードを引っ張らない。
- ◆ 交流100V以外で使わない。  
火災や感電の原因になります。
- ◆ 幼児に電源プラグをなめさせない。また、本体に触らせない。
- ◆ 分解、改造、修理しない。  
火災や感電、けがの原因になります。  
修理はお買い上げの販売店、または最寄りのお客様ご相談窓口にご相談下さい。
- ◆ 吹出口からの噴霧気は、故意に吸入しない。
- ◆ 異臭や、機器の異常を感じたときは、使用を直ちに中止する。  
使用を中止してお客様ご相談窓口にご相談下さい。

- ◆ 吹出口、超音波振動部、本体のすき間に針金などの金属を入れない。  
感電・ショート・発火の原因になります。
- ◆ お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。  
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を損なう原因になります。



### 指示

- ◆ 電源プラグは、根元までしっかり差し込む。  
差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。
  - 電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいコンセントは使わない。
- ◆ 電源プラグのホコリなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。  
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。
  - 長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
- ◆ 使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。  
電源プラグを差し込んだままにすると、感電やけがの原因になります。

## ！ 注意



### 禁止

- ◀ **タンクに水道水以外の水は入れない。**  
飲料用の水道水は抗菌処理がされているため、カビや雑菌が繁殖しにくく、加湿器の使用に適しています。  
入れてはいけない水：  
浄水器により浄化した水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水、40℃以上の温水、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水
- ◀ **超音波振動部のお手入れは週2回以上必ず行う。**  
堆積物が多量に付着すると、故障の原因になります。
- ◀ **抗菌カートリッジを交換しないまま、長期間使用しない。**  
抗菌カートリッジの効果がなくなると、雑菌が繁殖したり、異臭が発生することがあります。約6ヶ月を目安に交換して下さい。
- ◀ **タンクやダクトをはずしたまま使用しない。**  
水が噴き出して、周辺の内装品に損害が出るおそれがあります。
- ◀ **衣類・カーテン・壁などの側で使用しない。壁や窓から必ず1m以上離して使用する。**  
シミ・変色する原因になります。
- ◀ **テレビやラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から1m以上離す。**  
テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起こることがあります。
- ◀ **お子様が玩具として遊ばないように注意する。**  
本体を転倒させると水が漏れ、周辺の内装品に損害が出るおそれがあります。
- ◀ **本体を水に浸したり、丸洗いしない。**  
底部の電気部分に水が入ると、ショートや故障の原因になります。
- ◀ **排水方向表示以外の方向から水を捨てない。**  
本体内部の基板などに水が入ると、ショートや故障の原因になります。
- ◀ **凍結に注意する。**  
凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てて下さい。
- ◀ **本体を傾けない。**  
タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれるおそれがあります。
- ◀ **タンクを本体にセットした後は、タンクの取り付け・取り外しをむやみに繰り返さない。**  
水が溢れるおそれがあります。

- ◀ **本体を持ち運ぶ際には、本体と本体カバーを両手でしっかり持つ。**  
本体カバーのみを持つと、持ち運び中に本体が本体カバーから外れて落下するおそれがあります。
- ◀ **本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。**  
転倒により、破損・故障の原因になります。
- ◀ **本体をさかさまにしない。**  
故障の原因になります。

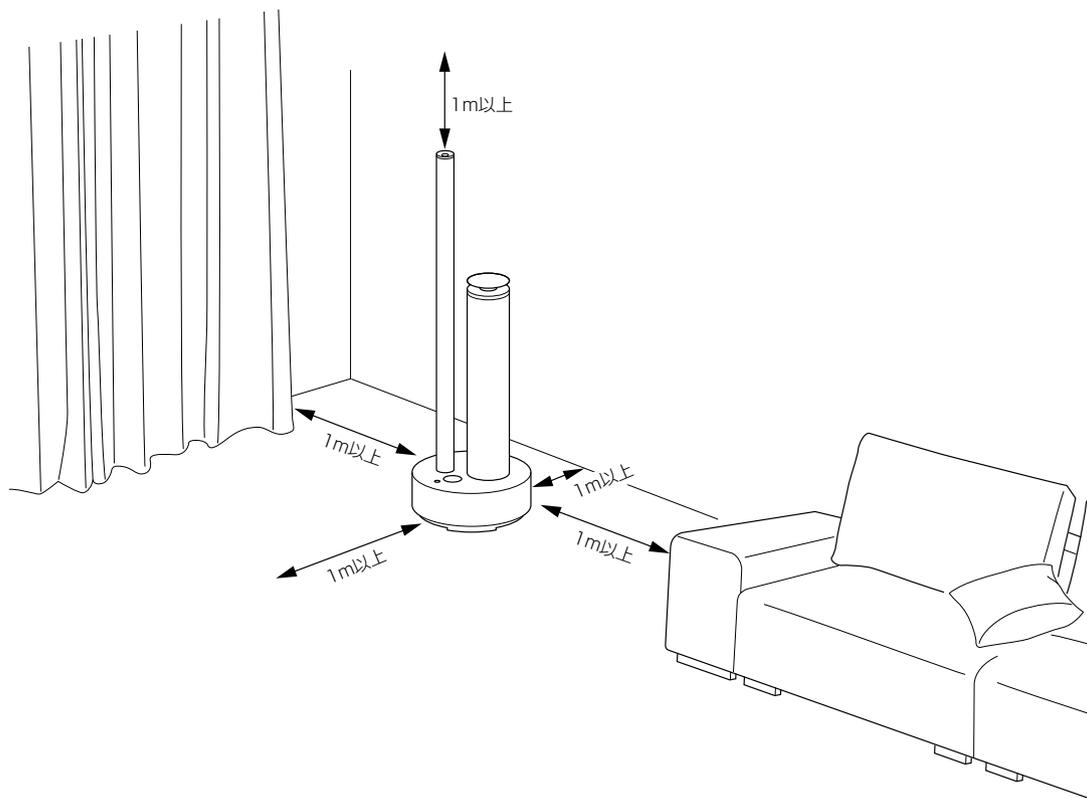


### 指示

- ◀ **本体のお手入れは週2回以上を目安に行ってください。**  
本機の抗菌機能はカビや雑菌の発生・抑制を保証するものではありません。したがって、お手入れを行わずに使用し続けると、カビや雑菌が繁殖したり、汚れや水垢で加湿量が低下したりすることがあります。  
また、まれにアレルギー体質などの方が過敏に反応し、健康を害するおそれがあるので、必ずお手入れをして下さい。

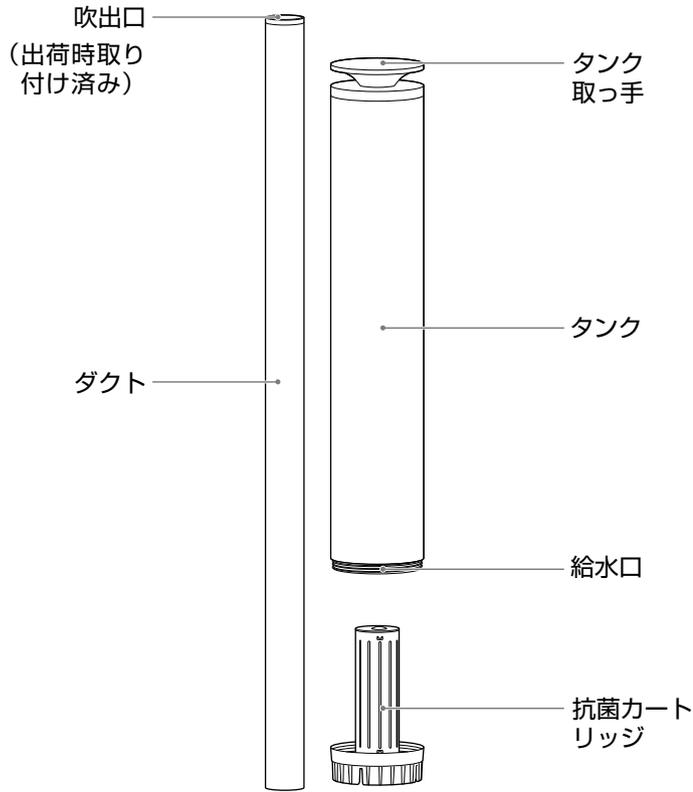
# 設置について

本機を使用するときは、図のように壁や周囲から十分な距離を保って下さい。また、本機を設置する際には下記の点に注意して下さい。

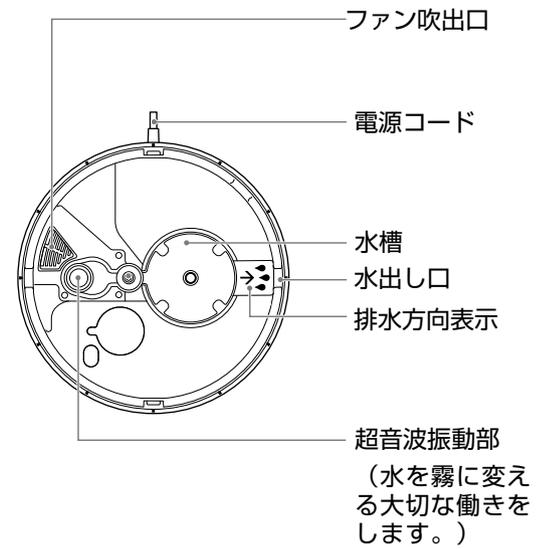


- 窓や壁からなるべく離れた場所に置く。  
窓や壁に霧がかかると、水滴となって窓や壁、床に付着し、カビなどが発生することがあります。
- 吸気口・吹出口をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置く。  
性能低下や故障の原因になります。
- 下記の場所では使用しないで下さい。
  - － 物が落下するおそれのある場所、凹凸がある場所  
不安定な物が置いてある棚などの下や、凹凸がある不安定な場所では使用しないで下さい。思わぬ事故や誤作動の原因になります。
  - － 霧が家具、壁、カーテン、天井、電気製品などに直接あたる場所  
湿気による故障、しみ、変形の原因になります。
  - － 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多い場所  
本機が正常に動作しないことがあります。
  - － 傾斜がある場所や不安定な場所  
本機が傾くと、本体の転倒、水漏れ、加湿量の変化、水位検出の誤動作による運転停止などの問題が発生することがあります。
  - － じゅうたん、電気カーペット、ふとんなどの上  
毛足が長いじゅうたんや、ふとんの上などに置くと、吸気口がふさがれて霧が出にくくなります。また、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置が誤作動することがあります。
  - － 直射日光があたる場所、暖房機の上、暖房機の近くや温風があたる場所  
本機が変形または変色することがあります。

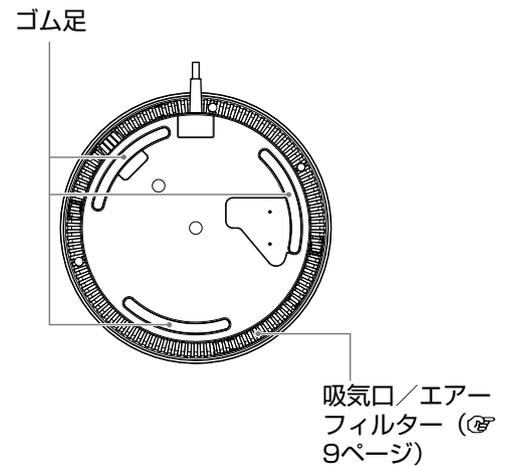
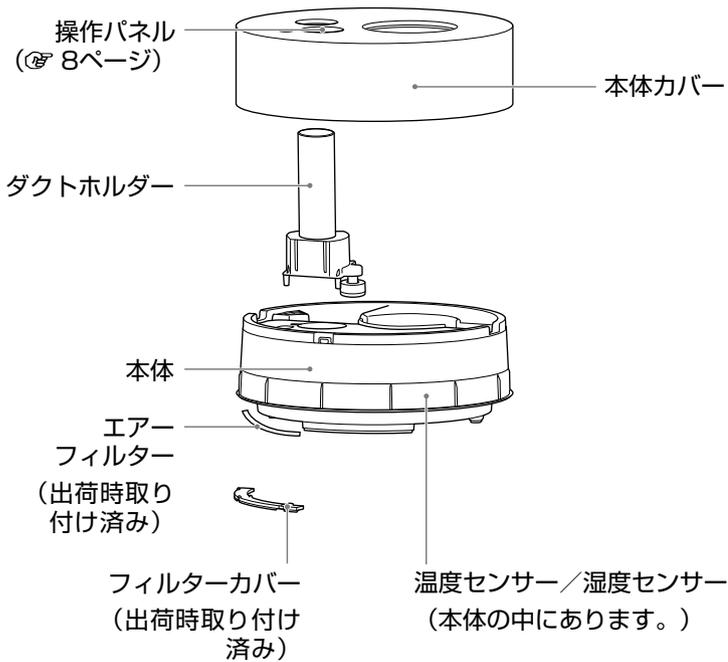
# 各部のなまえとはたらき



## 上部 (本体の内部)



## 底部

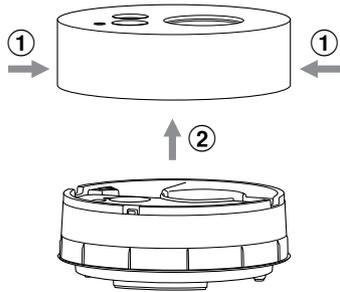


# 本体の組み立て

初めて使用する場合は、下記の手順に従いダクトとタンクを本体に正確に取り付けるようにして下さい。

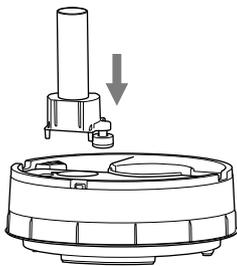
## 1 本体カバーを取りはずす。

本体カバーの両端（矢印①）を押さえながら、上方向（矢印②）に持ち上げ、本体から取りはずします。

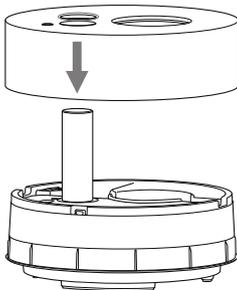


## 2 ダクトホルダーを本体に取り付ける。

ダクトホルダーを矢印の方向に取り付けます。

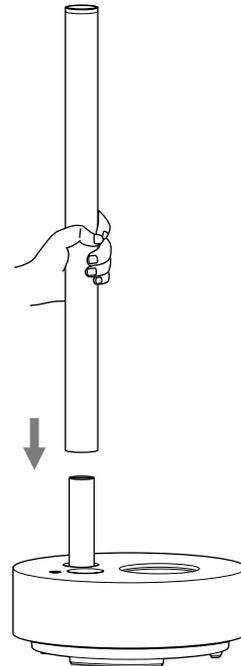


## 3 本体カバーにあるダクトの穴位置をダクトホルダーに合わせ、本体に取り付ける。



## 4 吹出口を上に向け、ダクトを取り付ける。

本体カバーにあるダクトの穴位置にダクトを矢印の方向に差し込みます。



## 5 水道水を入れる。

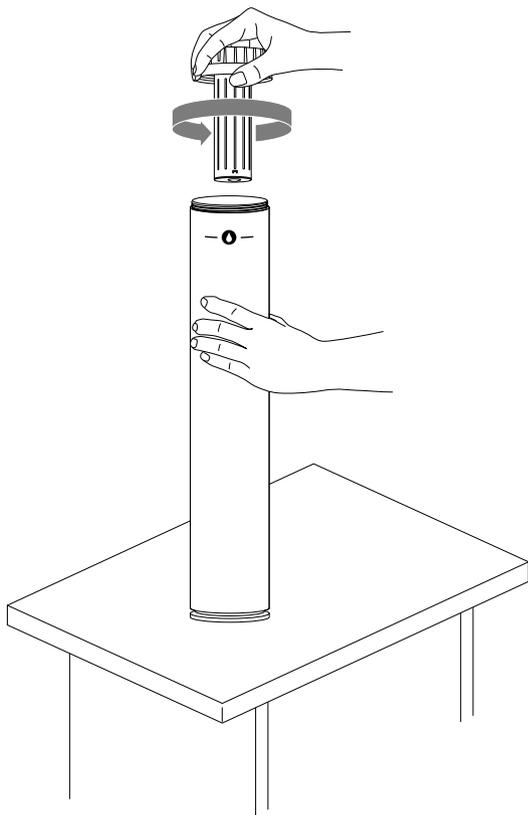
タンクと抗菌カートリッジをポリ袋から取り出し、給水口を上に向け、タンクに常温の水道水を入れます（給水は 7 ページをご覧ください）。

### ご注意

- 水槽に直接給水しないで必ずタンクに給水して下さい。
- タンクを扱うときは、安全のため必ず両手で支えながら持って下さい。
- タンクに水を入れたら、水が漏れないことを確認して下さい。
- タンクを本体にセットした後は、タンクの取り付け、取り外しをむやみに繰り返さないで下さい。
- 水は必ず水道水を使用して下さい。タンクに汚れた水、洗剤などは入れないで下さい。タンクが変形する可能性があるため、40℃以上のお湯は使用しないで下さい。
- 水に薬品、香料、精油、アロマオイルなどを加えないで下さい。
- 水を入れる際は、満水の表示を超えないようにして下さい。

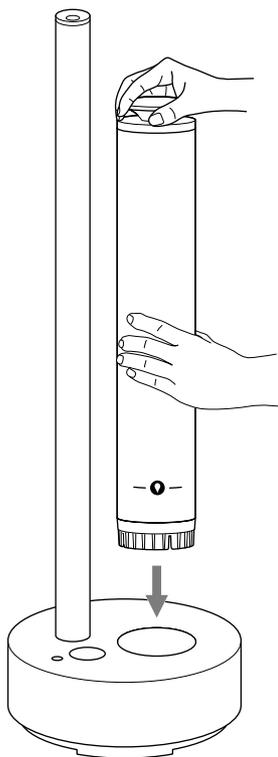
## 6 抗菌カートリッジを取り付ける。

抗菌カートリッジを時計回りに回して取り付けます。



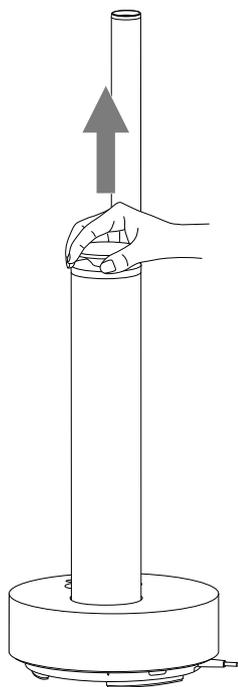
## 7 タンクを取り付ける。

本体に差し込みます。



# タンクに水を補給する

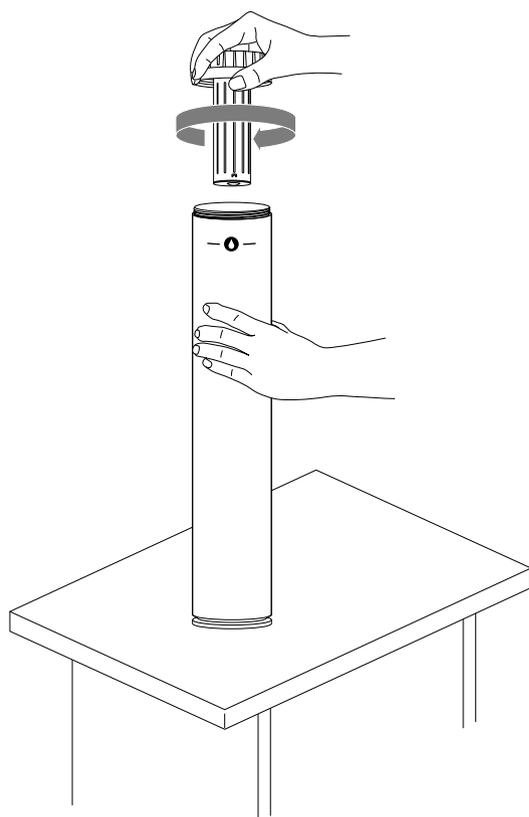
- 1** タンクを本体からはずす。  
タンクの取っ手を持ち、上向きに引き上げて本体から取りはずします。



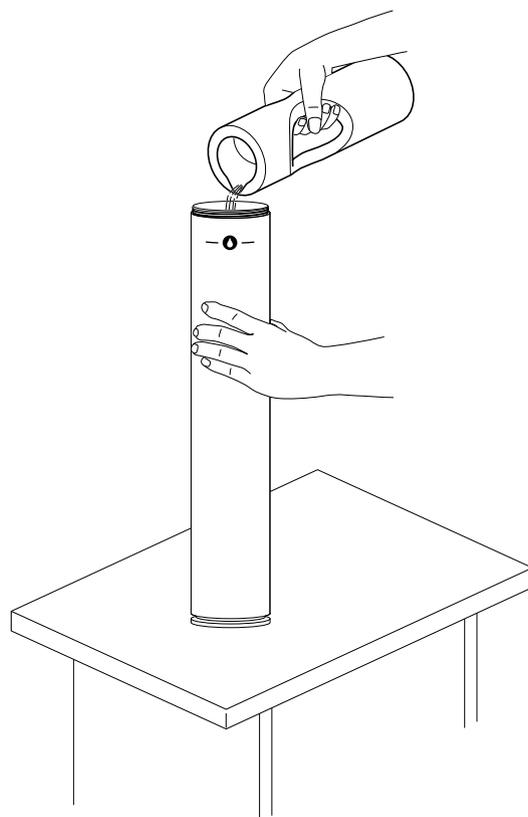
## ご注意

タンクをはずす前に、必ず電源を切って下さい。

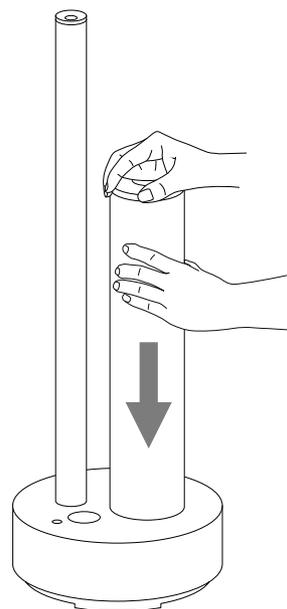
- 2** 抗菌カートリッジをはずす。  
抗菌カートリッジを上に向け、反時計回りに回して取りはずします。



- 3** 水道水を入れた後、抗菌カートリッジを取り付ける  
(抗菌カートリッジの取り付けは ⑥ 6ページをご覧ください)。



- 4** タンクを本体にセットする。

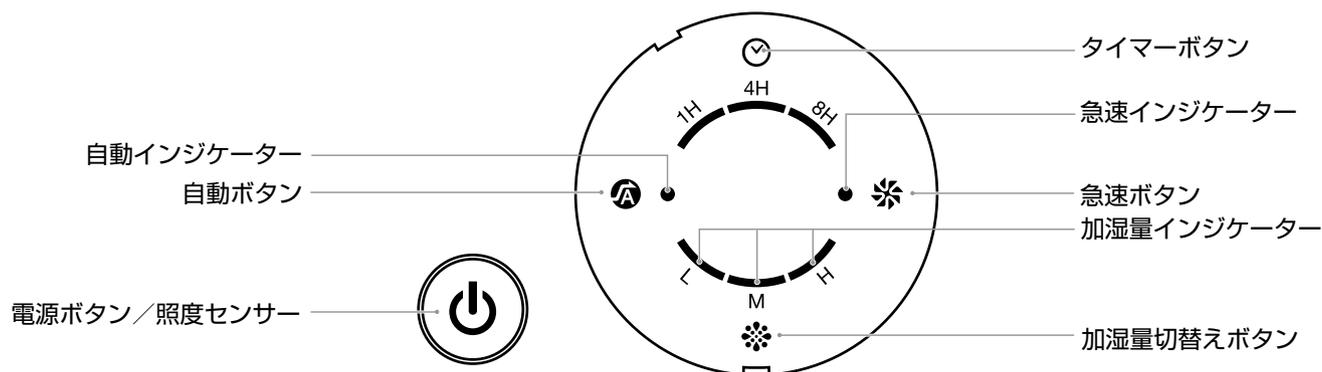


## ご注意

- タンクを持ち運ぶときは、抗菌カートリッジが上になるように持ち運んで下さい。
- カートリッジ装着後、タンクの水が濁ったり、沈殿物が生じることがありますが、異常ではありません。

# 使いかた

## 操作パネル



### 運転を開始する

#### 1 電源プラグをコンセントに差し込む。

##### ご注意

外出時や長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

#### 2 電源ボタンを押す。

自動インジケーターが点灯し、自動運転が始まります。

運転中に電源ボタンを押すと、運転が停止し、点灯していたインジケーターが消灯します。

### 自動運転にしたいとき

#### 自動ボタンを押す。

お部屋の温度、湿度を感知し、最適な状態になるよう加湿量を切り替えて運転します。

##### ご注意

本製品は快適な湿度になるよう、温度に合わせて加湿量を制御しています。同じ湿度でも、温度により加湿量が異なります。

### 急速運転にしたいとき

#### 急速ボタンを押す。

急速モードは2時間運転後、自動的に自動モードに切り替わります。

### 加湿量を変えたいとき

#### 加湿量切替えボタンを押す。

押すたびに加湿量インジケーターが下図のように変化し、加湿量が切り替わります。

→ L (弱) → M (中) → H (強) →

### 運転時間を設定したいとき

#### タイマーボタンを押す。

押すたびに、「ピッ」と音がして設定時間が変わります。選択されたタイマーインジケーターが点灯します。

→ 1H → 4H → 8H → オフ →

設定した時間が経過すると、電源は自動的にオフになります。

### 湿度の状態

部屋の湿度により、タンクの湿度インジケーターの色が変わります。

色	部屋の湿度の状態
黄	乾燥 ↑ ↓ 潤う
緑	
青	

タンクの水が無くなると、湿度インジケーターが赤く点滅します。タンクの水を補給して下さい（給水は 7 ページをご覧ください）。

# お手入れのしかた

## お手入れするときのご注意

- お手入れする前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 本機に水をかけないで下さい。  
感電、けが、故障の原因になります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、みがき粉などは使用しないで下さい。  
本機を傷めるおそれがあります。
- 使用中にお手入れしないで下さい。  
感電やけがの原因になります。
- お手入れに塩素系またはアルカリ性の洗剤は使用しないで下さい。  
有毒ガスが発生する原因になります。

## タンクの掃除をする (給水時は毎回行って下さい)

タンクに水を入れ、十分にすすぎ洗いして下さい。

## 本体の掃除をする (1週間に2回以上)

- 1** ダクト、タンク、本体カバー、ダクトホルダーをはずし、水槽の水を捨てる。

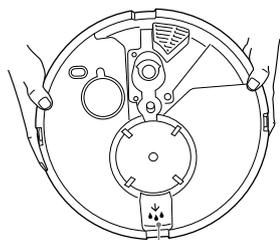
図のように、排水方向の表示の矢印が下を向くように水槽を傾け、水を捨てて下さい。

### ご注意

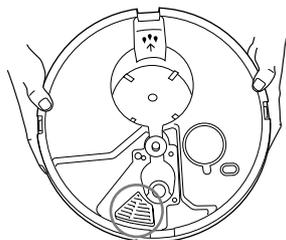
水槽の排水方向の表示を必ず守り、ファン吹出口に水が入らないように注意して下さい。水が内部に入ると、故障の原因になります。

正しい方向

間違った方向



排水方向の表示

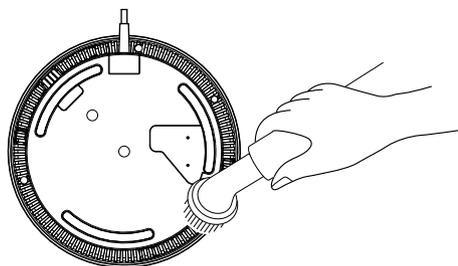


- 2** よく絞ったふきんで本体の内部と超音波振動部の汚れを拭き取る。

水槽や超音波振動部に粉のような物が沈殿することがあります。これはゼオライトの成分で、害のある物ではありませんが、この状態で使用した場合、加湿性能や動作に影響が出る可能性があるため、定期的に綿棒やスポンジなどの柔らかいもので掃除して下さい。また、故障の原因となるため、超音波振動部の表面を金属のブラシなどで絶対にこすらないで下さい。

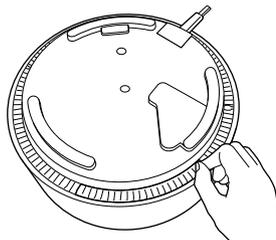
- 3** 吸気口の掃除をする。

本体底面の吸気口に付着したホコリは、掃除機などで取り除いて下さい。

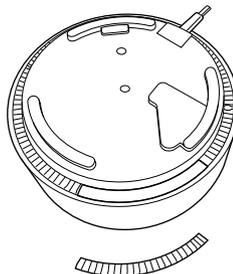


- 4** 3の手順でホコリが取れない場合、エアフィルターを本体から取りはずして水洗いする。

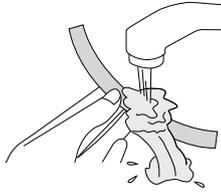
- ① 本体の底面を上に向け、フィルターカバーの取っ手を時計回りに押す。



- ② フィルターカバーをはずす。



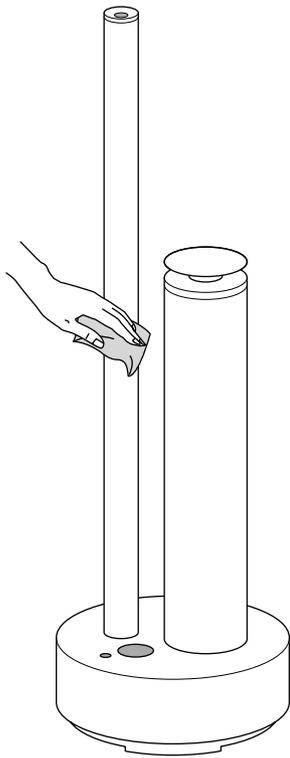
- ③ エアフィルターを本体から取りはずして水洗いする。



- ④ 洗った後は日陰で自然乾燥させた後、本体に取り付ける。

## 5 本体の汚れを取る。

柔らかい布で拭いて下さい。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼって拭き取り、その後水拭きして本機に洗剤が残らないようにして下さい。



## 6 抗菌カートリッジを交換する。

抗菌カートリッジは約6ヶ月に1回交換して下さい。交換用の抗菌カートリッジ（別売）の購入は、12ページ記載の付属品で型番などを参照の上、販売店にご相談下さい。

## 長時間ご使用にならないとき

### 本体、部品について

お手入れ後、付着した水を乾いた布で拭き、日陰（屋内）で自然乾燥させて下さい。

抗菌カートリッジは本体から取りはずし、十分に乾燥させて下さい。

### 保管について

ポリ袋などの湿気を通さない袋に入れ、湿気が少なく、直射日光が当たらない場所に保管して下さい。

### ご注意

- 十分に乾燥させないまま収納しないで下さい。カビの発生や悪臭の原因になります。
- 外出時や長時間使用しない場合は、タンク、本体内部、水槽などに残った水をすべて捨てて下さい。

# 故障かな？と思ったときは

症状	確認事項	対処
“ピピッ”という警報音が5秒間鳴り続き、タンクの湿度インジケータが赤色に点滅する	タンクに水が入っていますか？	タンクに水を補給して下さい。
“ピピッ”という警報音が5秒間鳴り続き、操作パネルのすべてのLED（ランプ）が早く点滅する	ダクトホルダーが正しくセットされていますか？	ダクトが正しくセットされていない場合は、正しくセットして下さい。 (☞ 5ページ)
“ピピッ”という警報音が鳴り続き、操作パネルのすべてのLED（ランプ）が早く点滅する	ファンが正常に回転していますか？	エアフィルターが汚れている場合は、エアフィルターのお手入れをして下さい。 (☞ 9ページ)
	本体が異常に熱くなっていますか？	エアフィルターが汚れている場合は、エアフィルターのお手入れをして下さい。 (☞ 9ページ)
操作パネルのすべてのLED（ランプ）がゆっくり点滅する	設置場所の温度が高すぎませんか？または、低すぎませんか？	温度が適切な温度環境で使用して下さい。

# 仕様

型名	HM-C400	JANコード	4562337501200	
電源	交流100 V 50/60Hz			
適用床面積 [m <sup>2</sup> ]	木造和室 強：11 m <sup>2</sup> (7畳)、急速：17 m <sup>2</sup> (10畳) <sup>※1</sup> プレハブ洋室 強：18 m <sup>2</sup> (11畳)、急速：27 m <sup>2</sup> (17畳) <sup>※1</sup>			
運転モード	弱	中	強	急速 (2時間)
消費電力 [W]	22	27	32	45
加湿量 [ml/h]	100	200	400	600
運転音 [dBA]	34	36	38	40
外形寸法 [mm]	直径270 × 高さ105 (ダクトを取り付けない場合) 直径270 × 高さ855 (ダクトを取り付けた場合)			
質量 [kg]	約3.5 (給水前で抗菌カートリッジを除いた状態)			
電源コード長 [m]	1.8			
タンク容量 [L]	約2.4			
付属品	取扱説明書、保証書 (取説内)、抗菌カートリッジ*、給水カップ			
* 型番	CT-C400			
JANコード	4562337501194			
外形寸法 (mm)	直径90 × 高さ169			

※1 日本電機工業会規格JEM1426に基づく試験方法により算出。

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は、  
エクレア・コールセンター ☎ 0120-707-212 までご連絡ください。

### 加湿器保証書

#### 持込修理

型名	HM-C400				
お買い上げ日	平成・西暦	年	月	日	
保証期間	お買い上げの日から				1年
お客様住所	〒□□□□ - □□□□				
お名前	様				
電話					
販売店					
シリアル番号					

- 本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容に従った正しいご使用のもとで、保障期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。
- 保障期間中に故障が発生し修理を受ける場合には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 保障期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様氏名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
  - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の落下、運送等による故障および損傷。
  - 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、公害、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
  - 据付、設置などによる故障および損傷。
  - フィルター交換。
  - 出張修理を行った場合の出張料金。
- 修理のために取りはずした部品は弊社にて引き取らせていただきますのであらかじめご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

修理メモ	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

▶ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

**株式会社エクレア**

〒102-0084 東京都千代田区二番町1-2-101-2 電話：03-6272-6808

